

第3次千葉市文化芸術振興計画素案構成

骨子案

計画の目的（マスタープランの立ち位置）

千葉市文化振興マスタープランについて、策定から20年以上経過したことによる、本市の文化芸術を取り巻く状況の変化を理由に新たな計画を定める。

理念

- ・本市ならではの文化芸術を創造する
- ・文化芸術を通じて市民に創造性や主体性が育まれる
- ・文化芸術を通じて多様性を受け入れお互いを尊重する地域社会を形成する
- ・文化芸術を通じてシビックプライドを醸成する

目指すべき姿

文化芸術にあふれ創造性豊かな千葉市

基本目標・施策

1. 多彩な文化芸術に触れる機会の充実
 - (1) 日常のなかで文化芸術に触れる機会の拡充
 - (2) 様々な文化芸術活動に触れる機会の拡充
 - (3) 効果的な文化芸術活動情報の提供
2. 誰もが文化芸術に親しめる場の提供
 - (1) 地域レベルでの文化芸術活動の展開
 - (2) 誰もが参加体験しやすい事業の実施
 - (3) 子どもや若者が文化芸術に触れる機会を創出
3. 市の資源の活用や多様な分野との連携
 - (1) 魅力ある場所を文化芸術活動の場として活用
 - (2) 文化芸術の好循環を生み出す環境の整備
 - (3) 文化財の保護や活用、美術品のデジタル化
4. アーティストや文化芸術に携わる人材の育成と支援
 - (1) アーティストが市に集い、活躍の場を広げることができる支援
 - (2) 文化芸術に携わる 人材の配置や育成、ボランティアの育成

重点取組

文化芸術の推進に係る体制の強化

評価

- ・第3次千葉市文化芸術振興計画の各基本目標に位置付ける事業について、その実施状況等を毎年度調査し、進行管理を行います。
- ・各基本目標に沿った評価指標を定め、本市の文化行政施策に関する事項や千葉市文化芸術振興計画に関する事項などを審議する「千葉市文化芸術振興会議」にて評価を行い、公表します。

素案

計画の目的（マスタープランの立ち位置）

策定からの経年変化に以下の観点を追加した。
 ○マスタープランと千葉市文化振興計画を整理、統合すること
 ○本計画で定める理念については、計画期間に関わらず定めるものであること

理念

文化芸術による『人づくり』
 文化芸術による『まちづくり』
 文化芸術による『未来づくり』

目指すべき姿

文化芸術にあふれ創造性豊かな千葉市

基本目標・施策

1. 多彩な文化芸術に触れる機会の拡充
 - (1) 様々な文化芸術を身近に触れる機会の提供
 - (2) 文化芸術活動を体験する機会の提供
 - (3) 文化芸術情報の幅広い収集と積極的な発信
2. 文化芸術をとおして相互理解を深める場の創出
 - (1) つながりを生み出す文化芸術活動の推進
 - (2) 子どもや若者が継続して文化芸術に親しめる機会の提供
 - (3) 誰もが鑑賞体験しやすい環境づくり
3. 千葉市ならではの文化芸術による新たな価値の創造
 - (1) 文化資源としての千葉市美術館の活用
 - (2) 文化施設以外の場所の活用
 - (3) 文化芸術と経済の連携
 - (4) 美術品や文化財の継承と魅力の発信
4. アーティストや文化芸術に携わる人材の育成と支援
 - (1) アーティストが集い、活躍の場を広げることができる支援
 - (2) 文化芸術に携わる 人材の配置や育成

重点取組

文化芸術の推進に係る体制の強化

評価

- ・基本目標ごとの計画の進捗が把握できる参考値を集計します。
- 本市の文化行政施策に関する事項や千葉市文化芸術振興計画に関する事項などを審議する「千葉市文化芸術振興会議」にて、5年目の中間年、10年目の最終年において、本計画全体を総合的に評価し、その結果を公表します。
- ・第3次千葉市文化芸術振興計画の各基本目標に位置付ける事業について、その実施状況等を毎年度調査し、公表します。